



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年11月6日

上場会社名 株式会社トレードワークス 上場取引所 東
 コード番号 3997 URL <https://www.tworks.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅見 勝弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 安藤 千年 TEL 03-5259-6611
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の業績 (2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	1,310	22.6	△84	—	△84	—	△59	—
2019年12月期第3四半期	1,068	△37.0	△62	—	△61	—	△45	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	△17.96	—
2019年12月期第3四半期	△13.91	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2020年12月期第3四半期	1,580		1,390		88.0	
2019年12月期	1,748		1,466		83.9	

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 1,390百万円 2019年12月期 1,466百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2020年12月期	—	0.00	—		
2020年12月期 (予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,313	16.3	144	15.6	144	14.4	100	11.9	29.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	3,309,600株	2019年12月期	3,305,100株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	226株	2019年12月期	160株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	3,308,944株	2019年12月期3Q	3,255,304株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e tにて同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた経済活動は徐々に再開しつつありますが、感染拡大の第2波、第3波が依然懸念されていることや収束時期の見通しが立たないことから、先行きについては今後も不透明な状況が続いております。

当社の属する情報サービス産業界においては、日銀が2020年7月1日に発表いたしました2020年6月短観(出所:日銀短観)では、ソフトウェア投資計画(金融機関含む全産業)が前年度比2.4%増となるなど、企業のデジタル経営指向の強まりにより、IT投資は底堅い動きが期待されております。しかしながら、短期的には、経済活動の停滞や企業の業績悪化等の影響を受けており、今後もIT投資需要が鈍化する可能性がある等、今後も予断を許さない状況にあります。

このような状況の中、当社は事業継続を最優先課題と位置付け、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として、中長期的な視点でDX(デジタルトランスフォーメーション)推進の論調が高まる中、重要な社会インフラを支える使命と従業員の安全確保の両立を前提とした様々な取り組みを推進しています。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,310,347千円(前年同四半期比22.6%増)、営業損失84,859千円(前年同四半期は営業損失62,672千円)、経常損失84,191千円(前年同四半期は経常損失61,487千円)、四半期純損失59,429千円(前年同四半期は四半期純損失45,270千円)となりました。

なお、当社は証券システム開発事業及びこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しておりますが、各事業区分別の状況は以下のとおりであります。

(金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業におきましては、フロー収入(開発案件)及びストック収入(月額使用料・保守及びクラウドサービス)共に予定どおり進捗した結果、売上高は1,178,098千円(前年同四半期比26.0%増)となりました。

損益面につきましては、コロナ禍の状況下において各種経費削減施策を実施したものの、当社におけるコストの大半が人件費等の固定費であることから、施策効果は限定的となりました。

(FXシステム事業)

FXシステム事業におきましては、既存顧客からの「TRAdING STUDIO」タブレット版の受注等新サービスの提供により、売上高は119,900千円(前年同四半期比0.6%増)となりました。

(セキュリティ診断事業)

セキュリティ診断事業におきましては、コロナ禍の状況下において一部既存顧客の契約更新の遅れ及び脆弱性診断規模の縮小等の影響より、売上高は12,348千円(前年同四半期比18.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は978,070千円となり、前事業年度末に比べ184,708千円減少いたしました。これは主に現金及び預金及び仕掛品が増加した一方、売掛金が減少したことによるものであります。固定資産は602,026千円となり、前事業年度末に比べ16,467千円増加いたしました。これは主に減価償却費の計上によりソフトウェアが減少した一方、ソフトウェア仮勘定及び繰延税金資産が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、1,580,097千円となり、前事業年度末に比べ168,241千円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は119,609千円となり、前事業年度末に比べ99,046千円減少いたしました。これは主に買掛金や未払法人税等が減少したことによるものであります。固定負債は69,854千円となり、前事業年度末に比べ6,246千円増加いたしました。

この結果、負債合計は、189,464千円となり、前事業年度末に比べ92,800千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,390,632千円となり、前事業年度末に比べ75,441千円減少いたしました。これは主に、配当金の支払や四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は88.0%（前事業年度末は83.9%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の通期業績予想は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により不確定要素がありますが、経済活動及び景気動向が、現状から緩やかに改善していくことを前提とし、また現時点において入手可能な情報をもとに業績への影響を慎重に見極め、2020年2月14日に公表いたしました2020年12月期の通期の業績予想に変更はありません。

なお、当社を取り巻く経営環境は、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響に留意する必要があるなど、依然として先行きは不透明ではありますが、今後の業績への影響については注視を続け、業績予想の修正が必要と判断される場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	422,266	639,609
売掛金	688,414	139,192
仕掛品	16,405	165,206
未収消費税等	21,094	—
未収還付法人税等	—	14,675
その他	14,598	19,387
流動資産合計	1,162,779	978,070
固定資産		
有形固定資産	104,623	95,116
無形固定資産		
ソフトウェア	288,697	245,242
ソフトウェア仮勘定	—	45,305
その他	153	153
無形固定資産合計	288,850	290,700
投資その他の資産		
投資有価証券	49,440	49,440
繰延税金資産	25,180	50,529
敷金及び保証金	117,463	116,239
投資その他の資産合計	192,084	216,209
固定資産合計	585,558	602,026
資産合計	1,748,338	1,580,097
負債の部		
流動負債		
買掛金	99,145	73,082
未払法人税等	38,517	1,458
未払消費税等	7,138	10,773
前受金	19,551	16,001
その他	54,303	18,293
流動負債合計	218,656	119,609
固定負債		
退職給付引当金	63,608	69,854
固定負債合計	63,608	69,854
負債合計	282,264	189,464
純資産の部		
株主資本		
資本金	303,441	303,726
資本剰余金	293,441	293,726
利益剰余金	869,572	793,617
自己株式	△380	△438
株主資本合計	1,466,073	1,390,632
純資産合計	1,466,073	1,390,632
負債純資産合計	1,748,338	1,580,097

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	1,068,990	1,310,347
売上原価	840,929	1,088,383
売上総利益	228,060	221,963
販売費及び一般管理費	290,733	306,822
営業損失(△)	△62,672	△84,859
営業外収益		
受取利息	74	29
受取配当金	—	900
受取家賃	—	418
貸倒引当金戻入額	482	—
その他	666	105
営業外収益合計	1,222	1,454
営業外費用		
支払利息	27	—
為替差損	10	29
その他	—	757
営業外費用合計	37	786
経常損失(△)	△61,487	△84,191
特別損失		
固定資産除却損	2,054	—
特別損失合計	2,054	—
税引前四半期純損失(△)	△63,542	△84,191
法人税、住民税及び事業税	408	585
法人税等調整額	△18,680	△25,348
法人税等合計	△18,271	△24,762
四半期純損失(△)	△45,270	△59,429

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。